

今回は、休校期間中の課題への取り組みについての報告です。

◇ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校期間中の課題

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、岐阜県では5月末までが休校期間となっていました。そこで本校ではFRHについて、1、2年生共通で次のような課題に取り組みました。

- ・ Step Forward FRH project 「私たちにできること」を考えよう！
- ・ NIE (Newspaper in Education)
- ・ MBL (Media-Based Learning)

◇ Step Forward FRH project 「私たちにできること」を考えよう！

SDGsを知り、17の目標を達成するために私たちにできることを考えるためのワークシートです。1年生にとっては初めてのワークシートでしたが、17の目標を調べて、それぞれについて各自が「私たちにできること」を提案してくれました。この課題を通して、2年生は17の目標と169のターゲットを再認識し、1年生はSDGsを身近に感じてくれたようです。



「17の目標達成のために私たちにできること」生徒の提案の例



飢餓をゼロに

提案：肉の消費量を減らし、穀物の消費量を増やす。



すべての人に健康と福祉を

提案：生活リズムを整えることで免疫力を高め、清潔な環境を保つ。



ジェンダー平等を実現しよう

提案：正しい理解を進めて、互いの良さを認め合う。



産業と技術革新の基盤をつくろう

提案：テクノロジーについて理解を深め、自ら開発に協力していく態度を示す。



住み続けられるまちづくりを

提案：自分の住んでいる町をより深く知ること、その町の課題に対して協力していく姿勢をとる。



海の豊かさを守ろう

提案：海にゴミを捨てない。許可なしで海の生物を捕獲しないようにする。



つくる責任つかう責任

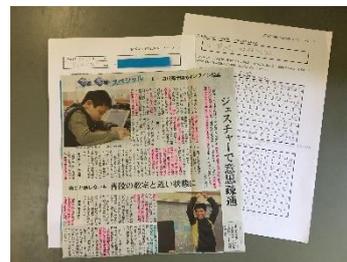
提案：体に害のないものを使い廃棄物を減らす。

◇ NIEとMBLの目的

・ NIE (Newspaper in Education) とは

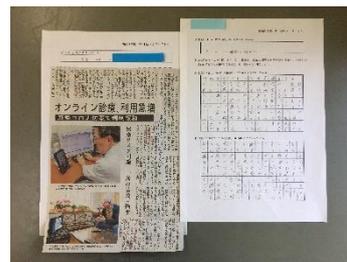
1930年代にアメリカ合衆国で始まった方法で、学校などで新聞を教材として取り組むものです。この学習方法は、現在も世界各国で採用されています。

新聞記事を読むことで読解力が身につく、時事問題に関心を寄せ、それについて自分の意見を持つことを目指しています。



本校で実施した課題の取り組み方

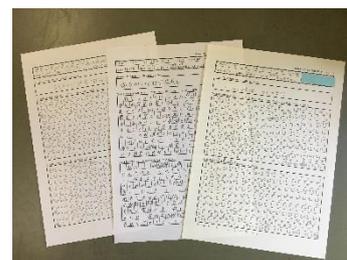
- 1) 新聞記事を1つ選び、SDGs「17の目標」のうちのどれに関わるかを記入する
- 2) 記事の本文を読み、SDGs「17の目標」達成に向けた積極的内容が書かれている部分には赤線を引き、消極的内容が書かれている部分には青線を引く。
- 3) 記事の内容をまとめる。
- 4) 自分の意見を述べる。



・ MBL (Media-Based Learning) とは

メディアを活用した、学習者の自律的な学習を可能にする方法のことです。本校では今回、テレビ番組をメディアとして指定し、MBLに取り組みました。

NIEと同様に、生徒が時事問題に関心を寄せ、それについて自分の意見を持つことを目指しています。今回指定したのは、NHKのクローズアップ現代+等の4番組で、それらを視聴して取り組むワークシートを作成しました。



本校で実施した課題の取り組み方

- 1) 番組を視聴して、SDGs「17の目標」のうちのどれに関わるかを記入する
- 2) 番組の内容をまとめる。
- 3) 自分の意見を述べる。

現在の社会情勢を反映して、生徒からは新型コロナウイルスに関わる新聞記事やテレビ番組を視聴したワークシートが多数提出されました。「新型コロナウイルスの食への影響」「新型コロナウイルスで亡くなった方の遺族の胸の内」「新型コロナウイルスによる休校に伴う学習環境の整備と変化」などについて、さまざまな意見が寄せられました。

新型コロナウイルスに関する記事や番組以外では、「SNSを通じた誹謗中傷」「“香害”による健康被害」「視聴覚障がい者のための“声の地図”」などがありました。選択された新聞記事や番組内容から、生徒が多様な分野に興味・関心を寄せていることがわかりました。

また、どの生徒も、学習の目的に沿って課題に取り組み、自分の意見を述べるできています。

今後、通常の登校ができるようになった場合には、昨年度までと同様に課題解決型研究を進めていく予定です。今年度は個人での研究になりますが、研究レポートの作成等に今回のワークシートでの学習成果を生かしていきたいです。